

蒲生干潟の地形調査⑫

■進む河口付近右岸での堆積



Fig.1 4月の河口付近右岸（北側より撮影）



Fig.2 5月の河口付近右岸（北側より撮影）



Fig.3 河口付近左岸（東側より撮影）



Fig.4 堆積がなくなり水が流れる通水部分（北側より撮影）



Fig.5 潟湖との高低差ができた中央の通水部分（東側より撮影）

調査日 2016年5月13日（金）14:00～15:30
 この日の干潮時刻は14:26であり干潮時間帯（潮位34cm）に調査を行った。簡易GPSの不調により、汀線の簡易測量は行うことが出来なかったが潟湖周辺地形は安定していた。Fig.1は4月の河口付近右岸のようすでありFig.2は5月のそれである。これらからわかるように河口付近右岸で堆積がすすみ砂州が拡大していた。また河口付近では左岸側の護岸ブロック付近でも堆積が進み河口が狭くなっていた。

一方、導流堤通水部分付近での堆積はなくなり、3つの通水部分とも潟湖から川側へ水が流れ出していた（Fig.4）。4月の調査では潟湖と川側の高さは同じであったが、今回の調査では潟湖と川に高低差ができていた（Fig.5）。

（中田 晋）